

平成18年度 きのくに芸術新人賞

お がわ とも じ
小 河 朋 司

住 所：神奈川県

出 身 地：和歌山県新宮市

生 年：昭和41年

■現在

美術家

◎業績及び経歴

昭和41年新宮市に生まれる。平成4年多摩美術大学絵画科油絵専攻を卒業し、平成6年同大学大学院修士課程を修了する。同大学在学中の平成3年に初個展(ギャラリーなつか 東京)を開催して以来、毎年個展で作品を発表し続けている。

また、国内では、平成9年「ものとあわれ」展(和歌山県立近代美術館)、平成10年「曖昧なる境界」展(O美術館 東京)、平成12年「明日への作家たち」展(神奈川県民ホールギャラリー)、平成14年「VOCA」展(上野の森美術館 東京)、同年「東日本-彫刻」展(東京ステーションギャラリー)、平成17年「キュレーターの視点-点と網-」展(埼玉県立近代美術館)などに出展するとともに、海外では、平成12年にオランダ、ドイツで、平成14年にはアメリカでアーティスト・イン・レジデンスによる制作を行う。

画面からの反射によって色彩をあらわす独特の手法により制作される作品は、国内外からジャンルを超えて高い評価を受けている。現在は、国際的に活躍が期待される美術家の一人として東京・オランダに拠点をおいて制作活動を行っている。